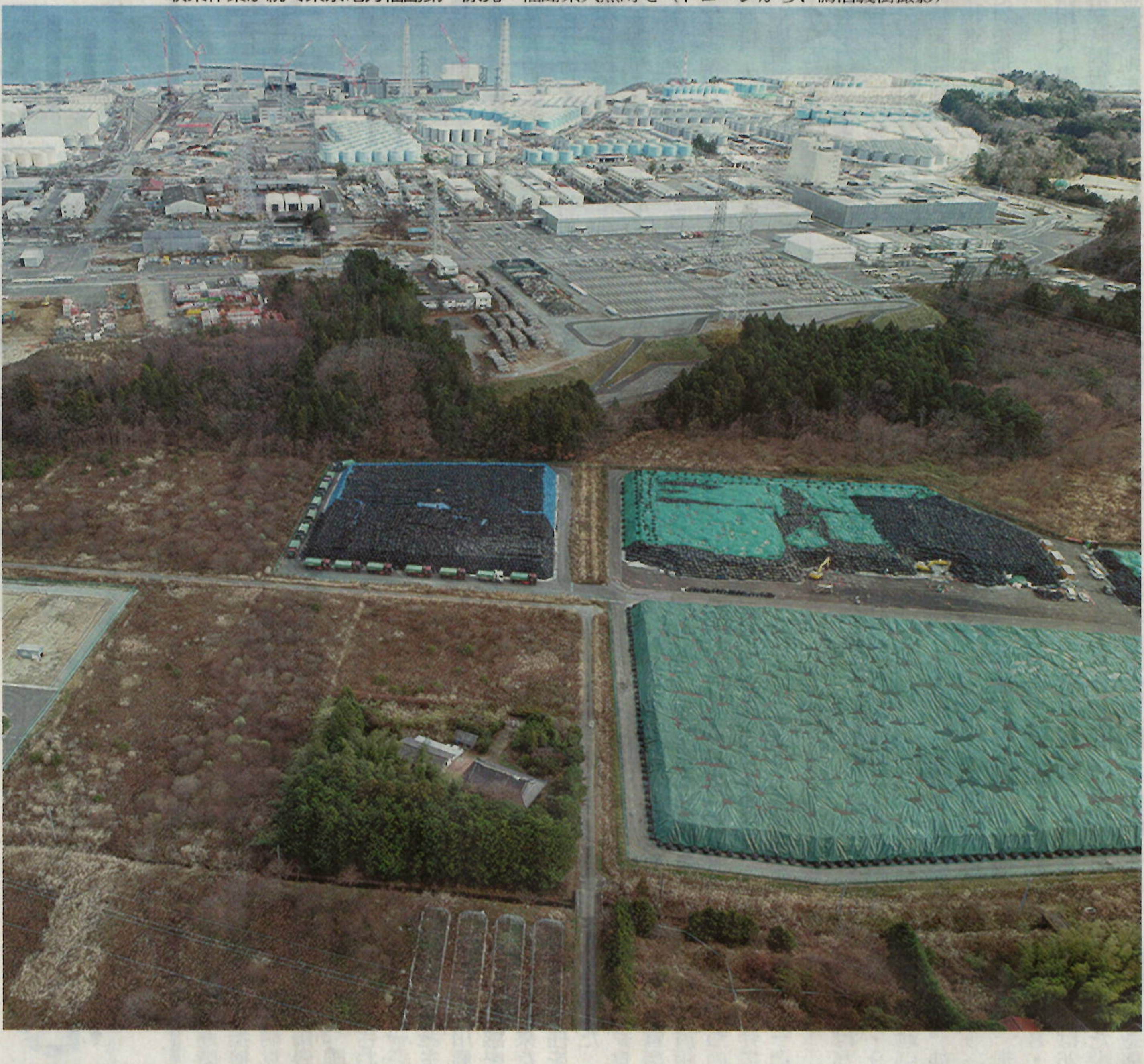
東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505　電話 03（6910）2211

天一
銀座本店六丁目並木通り
登録商標商号

読者とともに
紙面へのご意見
お問い合わせは
TEL 03-6910-2201
土日祝日除く9:30～17:30
FAX 03-3595-6935
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

本社の新聞編集は、すべて再生可能エネルギーの電力で賄われています。



中間貯蔵施設の敷地内、土のう袋の山に囲まれた門馬好春さんの実家（手前左）。奥は事故収束作業が続く東京電力福島第一原発＝福島県大熊町で（ドローンから、潟沼義樹撮影）

実家奪った汚染土の山

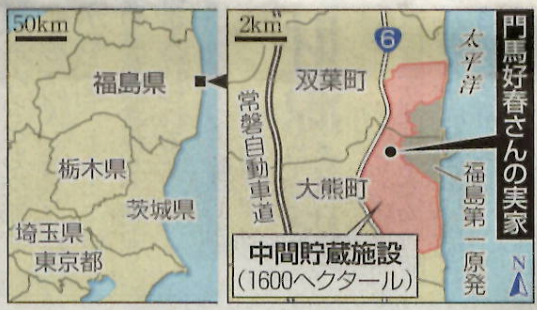
中間貯蔵地内の故郷

あの日から
福島原発事故10年

動画はこちらから

黒い土のう袋（フレコンバッグ）が六段重ねで積み重なる。その山に取り囲まれるように、木造の民家がぽつんと残る。二階の窓から海側に目を向けると、林の向こうに東京電力福島第一原発（福島県大熊町・双葉町）の構内にある建物が見えた。

原発からわずか二百㍍、大熊町にある民家を、ここで生まれ育った門馬好春さん（六三）＝東京都渋谷区＝と一緒に訪ねた。一帯は千六百㌶と広大な中間貯蔵施設の敷地内で、県内各地から放射能で汚染された土入りの土のう袋が運ばれてくる。町の許可なしには入れない帰還困難区域だ。



「ほい、ただいまー」。全身白い防護服を着た門馬さんが、ツタがはう玄関をくぐって言った。

返事はない。

あの日から、無人となった実家への帰省は一年二カ月ぶり。玄関先に腰掛け、足をぶらりとさせた。「一番落ち着くんです。子ども時代に父親のひざの上で外を眺めたからかなあ」

実家で暮らしたのは十八歳までと、福島第一原発などの施設運営に関わった二十五～三十歳。東京で暮らしていても、実家でつくる米を食べ続けた。「マツタケ、ドジョウ、食う物はいっぱいあった」。田園風景の面影は消えつつある。

玄関先に座るのは、帰省のたびの習慣だ。原発事故前、三十～四十分は座ったが、今は五～十分になった。空間放射線量が東京都心の百倍近い毎時三マイクロシーベルトほどあり、長くいられない。

視線の先に、高さ三㍍ほどのやぶが茂る。「おやじが裸一貫で築いた田んぼなんです」。今は耕すこともできない。「戦争は故郷（ふるさと）までは持っていかなかったけど、原発事故は実家も故郷も奪ってしまった」。やぶの先の原発では、終わりの見えない事故収束作業が続いている。

◇

東日本大震災と福島第一原発事故からあと二カ月で十年。被災した人々と被災地の今とこれからを、随時伝えていきます。

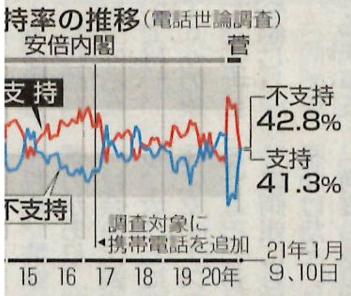
（福岡範行）

23面に続く

緊急宣言「遅過ぎ」79%

世論調査　菅内閣支持　続落41%

持率の推移（電話世論調査）



の感染者 1494人

速報値)	3日(日)	10日(日)
者数	816人	↗ 1494人
件数	2828件 (31日)	↗ 13774件 (7日)
用率 者数)	83% (2902人)	↘ 81% (3239人)
者用 用率 者数)	46% (101人)	↗ 51% (128人)
%以上でステージ 3（4の基準なし）		
経路 率※	67%	→ 67%
50%以上でステージ 3 4		
養者	73.7人	↗ 130.4人
週感染者	43.2人	↗ 88.5人
上でステージ 3　25人以上でステージ 4		
率※	12.4% (2日)	—
10%以上でステージ 3 4		

ナ
染状況分類
平均
ステージ 3　感染者急増
ステージ 4　爆発的拡大

729人　埼玉 414人　千葉 388人

地域の状況 ⑱

新型コロナ
首相「関西状況見る」
国内感染者数 ②
ブラジル死者20万人 ⑥
新変異種を確認 ㉓

筆洗

「雨の日の結婚式は幸せな結婚をもたらす」。フランスのことわざだそうだ▼縄の結び目が水にぬれるとほどけにくくなるように、夫婦の絆も雨によって固くなり、離れることはない。そんな言い伝えらしい。雨は神さまが二人に代わって泣いているためであり、その分、二人はこれから泣くことはないという解釈もあるそうだ▼気休めにこんな話を持ち出したところで慰めにもならないか。結婚式ではなく、成人式。晴れの門出ぐらいはすっきり晴れてほしかったが、新型コロナウイルスという「大雨」の中で迎えることになった今年の成人の日である▼感染対策上、

天気

気圧の谷の影響を受ける。関東は日中おおむね晴れるが夜は沿岸で雪や雨の降る所も。空気が冷たく寒さが続く。

1月10日18時
130°
140°
150°
高
低 1018
低 1000
低 1006
低 1020
低 1026
40°
30°
20°

○快晴 ①晴 ◎曇 ●雨 ◒雷雨 ⊗雪 ◉霧 ⺁風向・風力

	きょう 6	9	12	15	18	21	24時		降水確率	12(火)		13(水)		14(木)		15(金)	
東京	☁	☀	☁	☀	★	☁	7/-1		20	☁☃	6/1	☀☁	11/1	☀☁	13/1	☀☁	12/2
水戸	☀	☀	☁	☀	★	☁	8/-4		20	☁☃	8/0	☀☁	12/-3	☀☁	13/-2	☀☁	11/0
宇都宮	☁	☀	☁	☀	☁	★	7/-4		10	☁☃	6/-1	☀☁	11/-3	☀☁	12/-1	☀☁	11/-1
前橋	☁	☀	☁	☀	☁	★	8/-3		10	☁☃	6/-1	☀☁	11/1	☀☁	13/1	☀☁	12/2
さいたま	☁	☀	☁	☀	★	☁	8/-5		20	☁☃	7/-2	☀☁	11/-2	☀☁	13/-1	☀☁	13/-1
千葉	☀	☀	☁	☀	★	☁	7/0		20	☁☂	10/2	☀☁	12/2	☀☁	13/3	☀☁	12/5
横浜	☀	☀	☀	☀	★	☁	7/0		10	☁☂	6/2	☀☁	11/3	☀☁	13/3	☀☁	12/4

	きょう		降水確率	12(火)	13(水)
札幌	☁☀	-3/-10	20	☁/☃	☁/☃
仙台	☀☁	4/-5	0	☁☃	☁
金沢	☁☃	5/-1	50	☁☂	☁☂
長野	☁☀	2/-6	40	☁☃	☁☀
名古屋	☀☁	8/0	20	☁☂	☀☁
京都	☀☁	7/0	10	☃/☁	☀☁
大阪	☀☁	8/1	20	☃/☁	☀☁
広島	☁☀	6/-1	30	☁☃	☀☁

1月11日（月・祝）まで無休
上野の森美術館
KING & QUEEN展
本日最終日

新聞＋電子版
東京新聞 Wプラン
ダブル
朝夕刊セット版地区
月額税込 3,900円
※朝夕刊セット3,700円で購読の方はプラス200円で電子版が読めます。電子版は申し込み月が無料。当日から購読可能です。Wプランは個人契約のみ。支払いはクレジットカード決済になります。
お問い合わせ 03-6910-2552
Wプラン事務局（受付 平日10～17時）

「先祖伝来」軽くない

あの日から
福島原発事故10年

中間貯蔵用地　地権者会の会長

1面から続く

周辺で中間貯蔵施設の整備が進む実家を訪れ、玄関から外の景色を見つめる門馬好春さん＝いずれも福島県大熊町で

東京電力福島第一原発（福島県大熊町・双葉町）のすぐそば、大熊町にある門馬好春さん（六三）の実家を訪ねたのは昨年十二月十九日。冬でも温暖で知られるが、雪がちらついた。「こっちは雪、ふんねえだもん、ほんとは」。いつもは標準語の門馬さんがこの時は方言になった。

（福岡範行）

防護服姿の門馬さんは水色のビニールを靴にかぶせて部屋に入ると、金色に輝く大きな仏壇の前に座った。帰省の際には必ず手を合わせる。仏間のはりには、遺影のない額だけがぶら下がる。

三人きょうだいの三番目。子ども時代は貧しく、農家の父親は冬に出稼ぎをした。鍋の具が白菜ばかりの日も多かった。鶏が卵を産めなくなると、その肉を食べた。屋根まで逃げる鶏もいたが、「こちらも必死ですよ。鍋に鶏肉が入るかが懸かっていたんだから」。

そんな生活は、原発の建設で変わった。父親が、一九七一年に営業運転が始まる福島第一原発建設に関わるようになると、出稼ぎはなくなった。門馬さんは飼っていたヤギの乳搾りをしなくなり、牛乳を買えるようになった。

原発事故が起きた十年前、父親は既に亡くなっていた。あの日、門馬さんは神奈川県内の職場にいた。実家の家族に電話がつながらない。原発で水素爆発が起き、不安ばかり募った。みんなの無事を確認できたのは数日後だった。

避難指示で主を失った家と土地は、放射能で汚染された土を保管する施設の候補地になった。

「汚染土は早く回収すべきです。大熊、双葉の人が避難先でお世話になっていますし」。国の事業には賛成の立場だ。

国との交渉難航「被災者だますな」

ただ、それは国が「三十年以内に県外で最終処分するという約束を果たすことが条件」と念を押す。

中間貯蔵施設という事業で国は当初、福島第一周辺に広がる千六百㌶の国有地化を目指した。「最終処分場にされるのでは」と懸念する地権者ら住民に対し、国は説明会を開いた。その直後の二〇一四年六月、石原伸晃環境相（当時）が「最後は金目でしょ」と口にした。

地権者らは一斉に反発。国は全面国有化を断念し、地権者が土地を国に売るか、貸すかを選べるようにした。だが、これには国に有利な面が隠されていた。

気付いたのは、門馬さんらが一四年末につくった地権者会。土地を貸す地上権の契約書に「国が期間を自動延長できる」条文があり、環境省との交渉で修正させた。

土地を貸す場合の補償が国の統一ルールに書かれていない方法で算定されたことも問題視。「国有地化に応じた方が有利な補償になっていて、国の都合の押しつけだ」と訴える。

会長を務める地権者会と国との議論は、六年たっても平行線だ。地元の同級生からは「何やってんだ」とあきれられたこともあったが、経緯を説明すると応援してくれるようになった。

「先祖伝来の土地を使うんだから、被災者をだますようなことはいけない」。家を囲む土のうの山の前にダンプが列を作る。鈍いエンジン音と鳥の鳴き声が響く中、門馬さんははっきりと言った。

仏壇に手を合わせる門馬さん

家の様子をカメラに収める門馬さん

コロナ新変異種 確認

ブラジルから入国の4人

羽田検疫で陽性

厚生労働省は十日、ブラジルから羽田空港に到着した男女四人で新型コロナウイルスの変異種を確認した

た。感染力や重症化率が高いとの証拠はなく、調査中という。

状態の悪化で入院している。英国や南アフリカで報告されている変異ウイルス

英国帰りの感染者

観察期間に10人と会食

同席の2人が陽性

厚生労働省は十日、東京都内の三十代男性が英国から帰国後、新型コロナウイルスに感染が判明し、判明前に会食した十人のうち二人が英国で見つかっている変異種に感染したことが分かったと発表した。

男性は先月二十二日に帰国した際、空港検疫で陰性

ていた十四日間の健康観察期間中に十人と一緒に飲食を行っていたという。

健康観察期間は空港検疫での判定ミスなどを想定し、同省が帰国者らに要請している。同省担当者は「健康観察期間中は食事会などを控えていただくことが前提で、残念なことと受

男性は先月二十九日に陽性と判明。国のゲノム解析では変異種と確認できていない。しかし、厚労省は変異種が確認された二人は、この男性から感染したとみている。

この二人は、いずれも都内在住の二十代の男女で英国滞在歴はないという。男

し今月八日に入院。女性は同二日に発熱し、入院先を探している。

また、三十代男性と無関係の、英国から帰国した都内在住の二十代男性も空港の検査で陰性になったが、自主的に民間検査を受けたところ陽性と判明。さらなる解析で変異種と判明し